

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年7月7日

上場会社名 株式会社 あみやき亭
 コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 啓介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 千々和 康
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東 名

TEL 0568-32-8800

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,776	—	301	—	320	—	160	—
20年3月期第1四半期	3,450	6.1	385	2.9	396	3.3	247	10.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	2,339.13	—
20年3月期第1四半期	3,619.74	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	10,793	9,260	85.8	135,216.03
20年3月期	11,060	9,200	83.2	134,338.31

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 9,260百万円 20年3月期 9,200百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	1,000.00	—	1,500.00	2,500.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	1,250.00	—	1,250.00	2,500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	8,000	—	870	—	880	—	461	—	6,731.11
通期	16,200	12.6	1,680	8.9	1,700	6.3	908	0.8	13,257.80

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 68,488株 20年3月期 68,488株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1株 20年3月期 1株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 68,488株 20年3月期第1四半期 68,488株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」にしたがい四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題による米国経済の減速、原油・穀物等原材料価格の高騰に伴う物価上昇等により景気の減速傾向は一層強まり、先行き不透明な状況で推移いたしました。外食業界におきましても、消費者の生活防衛意識の強まり、原材料、人件費等の上昇に加え、食の安全に対する信頼を揺るがす事件が多発するなど、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような環境の下、当社では、焼肉部門におきましては、引き続き、食肉の知識とカット技術を駆使し、商品の品質向上に努め、価格据置のまま「専門店の味をチェーン店価格」で提供するとともに、半額フェア等積極的な販促活動を展開いたしました。また、接客・サービス向上策として、新たな取り組みであります「マイ・カスタマー・システム」を本格導入し、お客様満足度の向上に努めてまいりました。

焼鳥部門におきまして、焼き師認定制度を導入し、炭火で1本1本手焼きする「焼き」の技術向上に努めてまいりました。

店舗数につきましては、あみやき亭2店舗（西尾店、伊勢店）を新規に出店し、総店舗数は、125店舗（あみやき亭80店舗、美濃路45店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期におきましては、売上高は販促効果もあり前期比 9.5%増の3,776百万円となりましたが、損益面につきましては、人件費並びに株主優待引当金等販管費増により、営業利益 301百万円（前期比 21.7%減）、経常利益 320百万円（前期比 19.1%減）、当期純利益 160百万円（前期比 35.4%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産額は107億93百万円となり、前事業年度末と比較し2億67百万円減少いたしました。

主な要因は、現金預金の減少によるものであります。

負債総額は15億32百万円となり、前事業年度末と比較し、3億27百万円減少いたしました。

主な要因は、未払法人税等の減少によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年4月2日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,747	5,150
商品	23	23
製品	1	1
原材料	10	15
前払費用	143	106
繰延税金資産	79	72
その他	67	71
流動資産合計	5,073	5,441
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,576	3,520
構築物	350	344
機械及び装置	181	182
車両運搬具	15	2
工具、器具及び備品	227	220
土地	121	121
建設仮勘定	35	33
有形固定資産合計	4,507	4,424
無形固定資産	40	40
投資その他の資産		
投資有価証券	13	8
長期貸付金	242	246
長期前払費用	201	200
繰延税金資産	42	36
差入保証金	545	545
保険積立金	125	115
投資その他の資産合計	1,171	1,153
固定資産合計	5,719	5,618
資産合計	10,793	11,060

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	506	506
未払金及び未払費用	556	709
未払法人税等	151	408
未払消費税等	78	80
預り金	45	38
引当金	156	71
前受収益	12	18
その他	25	25
流動負債合計	1,532	1,860
負債合計	1,532	1,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	4,358	4,301
株主資本合計	9,259	9,201
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	△1
評価・換算差額等合計	1	△1
純資産合計	9,260	9,200
負債純資産合計	10,793	11,060

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	3,776
売上原価	1,450
売上総利益	2,326
販売費及び一般管理費	2,024
営業利益	301
営業外収益	
受取利息及び配当金	8
協賛金収入	3
違約金収入	5
雑収入	0
営業外収益合計	19
経常利益	320
特別利益	
受取保険金	2
特別利益合計	2
特別損失	
前期損益修正損	14
固定資産除却損	12
減損損失	5
特別損失合計	33
税引前四半期純利益	289
法人税、住民税及び事業税	145
法人税等調整額	△15
法人税等合計	129
四半期純利益	160

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	289
減価償却費	140
引当金の増減額 (△は減少)	84
有形固定資産除却損	12
減損損失	5
受取利息及び受取配当金	△8
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△32
仕入債務の増減額 (△は減少)	△0
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△17
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	0
その他	△32
小計	444
利息及び配当金の受取額	9
法人税等の支払額	△369
営業活動によるキャッシュ・フロー	84
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,500
定期預金の払戻による収入	1,500
有形固定資産の取得による支出	△386
無形固定資産の取得による支出	△0
投資有価証券の取得による支出	△0
差入保証金の差入による支出	△0
貸付金の回収による収入	4
その他	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△396
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△402
現金及び現金同等物の期首残高	1,691
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,289

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	3,450
II 売上原価	1,290
売上総利益	2,160
III 販売費及び一般管理費	1,775
営業利益	385
IV 営業外収益	13
V 営業外費用	1
経常利益	396
VI 特別利益	50
VII 特別損失	15
税引前四半期純利益	431
法人税、住民税及び事業税	176
法人税等調整額	6
四半期純利益	247